



# ええやん! しょうない

しょうないを  
みんなでつくる  
しょうほうし  
情報誌

ふえいすぶつく ついつたー  
Facebook / Twitter

しょうないREK



かわらばん  
しょうない  
庄内

ぼりゆーむ  
[Vol.18]

ええやん! しょうない編集局

## ミナミのミライー新しい庄内を担う子どもたちへー

### 「南部地域のまちづくり」

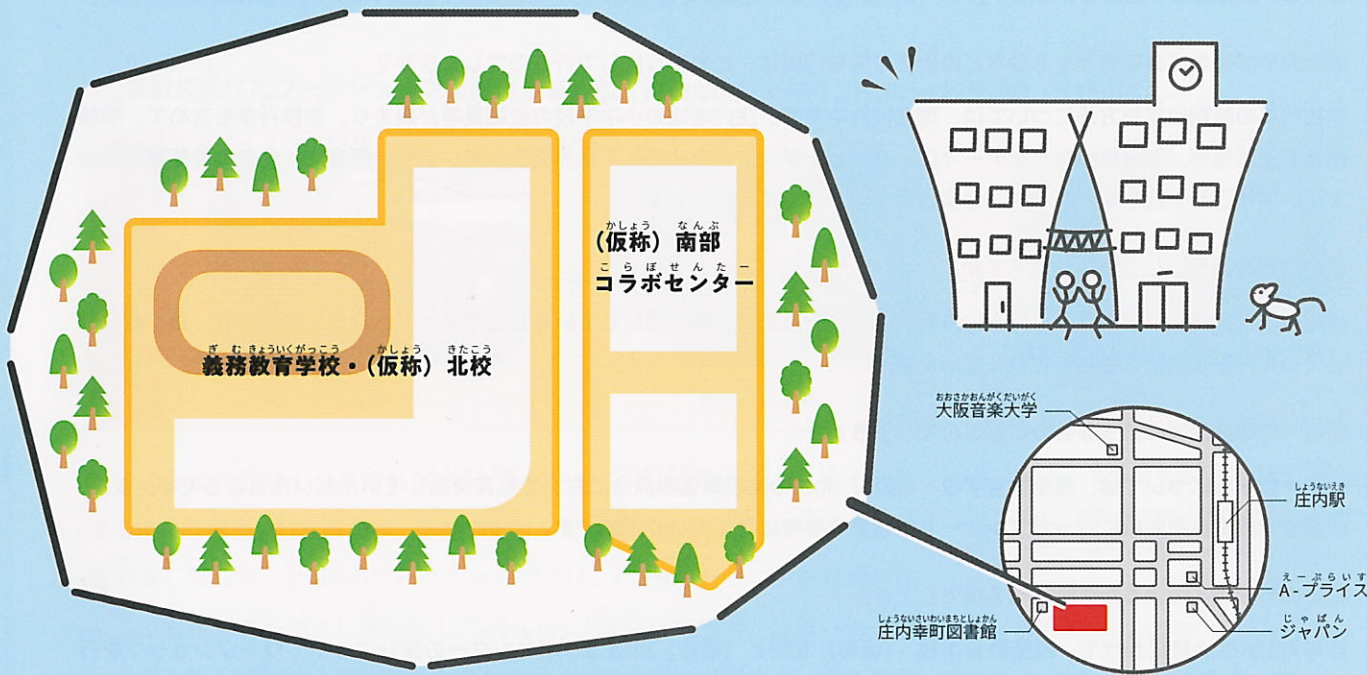
本市では、今年度からスタートした「第4次総合計画・前期基本計画」において、南部地域の活性化をリーディングプロジェクトに位置付け、庄内地域における「魅力ある学校」づくり計画や（仮称）南部コラボセンターの建設など、南部地域での施策を着実に進め、まちの活力向上に取り組んでいます。

南部地域は、大阪都心に近いという好立地や特色ある事業所の集積、人情味や界隈性を強みに、人と人のつながりを大切にする活発な地域活動など、多くの特性と可能性を持ち合わせています。

私は南部地域の活性化こそが、ひいては本市全体の活性化につながるものと確信しています。そのためには、市が着実な施策遂行を図ることはもちろんのこと、市民や事業者の皆さんと連携・協働しながら、ともに南部地域を盛り上げていきたいと考えています。



とよなかしちやう  
豊中市長  
おさない しげき  
長内 繁樹



### 「新しい学校への期待」

自分自身の住む地域の小中学校が生まれ変わるというタイミングに居合わせることの幸運を喜んでいきます。この変化は街中に大きな良い影響を与えることでしよう。新しい学校の魅力に引き寄せられて若い家族が増えればよいと思います。そして、子どもを仲立ちとして大人同士も交流を深めることにより、学び、ことを尊ぶ風が大人にも子どもにも溢れる、明るく美しく住みやすい街へとますます発展していくことを望みます。



ろくちやうこうくちいききやういけいざかい  
六中校区地域教育協議会 会長  
ますもり ぎし  
増森 兆

## 「庄内地域の魅力ある学校づくり」

教育委員会では現在、庄内地域の子どもたちが、思考力・判断力・表現力等からの時代を生きる力を身につけ、自信をもって自分の人生を切り拓けるよう、庄内地域を「全国モデルとなる教育先進地」とすることをめざし、先進的な教育の導入や独自の取り組みの検討を進めています。

具体的には、「庄内地域における魅力ある学校づくり」として、現在の6小学校と3中学校を再編し、義務教育9年間について系統的で一貫性のある教育を行う小中一貫校(義務教育学校)2校を新設する計画で、(仮称)南部コラボセンターと緊密な連携を図ることとしています。

義務教育学校では、柔軟な学年段階の区切りや独自教科の設定など、さまざまな工夫が可能になります。子どもたちが、将来の目標や夢を持ち、がんばっていきけるよう、保護者や地域の皆さんのご理解をいただきながら、「魅力ある学校づくり」の実現に向けて一歩一歩取り組んでいきたいと考えています。



豊中市教育長  
岩元 義継

## きゅーあんどえー Q & A

3小学校(庄内・野田・島田)と2中学校(第六・第十)を再編し、平成34年度(2022年度)に庄内小学校と第六中学校の敷地に開校予定の義務教育学校(仮称)北校。開校にあたって気になるアレコレを突撃取材で聞きました。

**Q** 子どもたちの通学の安全をどのように確保するのでしょうか？

**A** 通学の安全確保はとても重要です。現在の小学校の通学路はこれまでの取り組みにより安全対策を講じているため、できる限り活用し、新たに通学路となる道について、関係部局や関係機関等と連携し、ハード・ソフト両面から安全対策に取り組みます。

**Q** 運動会や学習の成果を発表する会などの大きな学校行事は、どのようにして行うのでしょうか？

**A** 学校行事の時期や実施方法については、現在検討中です。庄内地域の小中学校の教職員等が集まり、学校行事を含めて、学校運営や生活指導、学習指導などをテーマに、充実した学校生活をめざして意見交換しています。参考に、他市の義務教育学校では、学年ごとや全学年一斉など、さまざまな形で実施されています。

**Q** 校歌はどのようにして決めるのですか？

**A** 校歌の決定方法については、専門家に依頼することも含めて、現在検討しているところです。みなさまに愛され、長く歌い継いでいただける校歌にしたいと考えています。

**Q** 制服・標準服はどのようなものになるのでしょうか？

**A** 制服・標準服については、義務教育学校(仮称)北校の開校準備委員会において意見交換していただいたところです。また、保護者や教職員を対象に行ったアンケートの結果を参考に考えていく予定です。

**Q** 校舎の外観はどのような外観になるのでしょうか？

**A** 昨年7月から10月にかけて、義務教育学校(仮称)北校と(仮称)南部コラボセンターの設計についてワークショップを行い、市民や教職員のみなさんから、施設の外観を含めてさまざまなご意見をいただきました。地域のシンボルとして、2つの施設が一体感のある外観となることを目標に設計を進めています。

**Q** 地域諸団体の活動は、今後どのように変わっていくのでしょうか？

**A** 校区単位で活動している地域団体について、現在、各担当から校区再編後の活動の意向を確認させていただいています。今後は、各団体の意向を踏まえ、活動に係る支援などに取り組みます。

**Q** 新校舎が完成するまでの移行期間はどのようにするのか、簡単に説明していただけますか？

**A** (仮称)北校の建設工事は、平成32年度(2020年度)・33年度(2021年度)に行われる予定です。そのため、平成32年度(2020年度)に庄内小学校は野田小学校の敷地に移設、第六中学校と第十中学校は統合し、新たな中学校となります。なお、島田小学校は、(仮称)北校開校まで現在のまま運営します。

# （仮称）南部コラボセンター基本構想をもとに設計をすすめています

概要版

子どもに夢を！  
地域に輝きを！

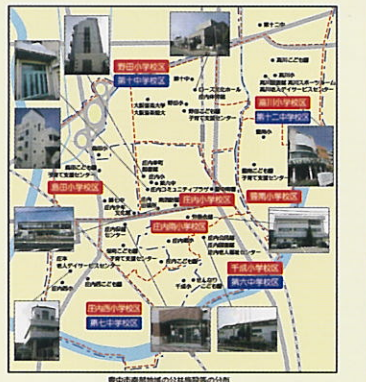
南部地域がまとまる、つながる、元気になる。

## （仮称）南部コラボセンターの施設イメージ

- 1 気軽に人が集う「楽しい施設」**  
（仮称）南部コラボセンターは、地域の若者から、高齢者の皆様にまで、地域の魅力を発信し、交流の場を提供する施設です。「利用しやすい」「開放的な」「居心地が良い」「交流の場が広がる」「交流の場が広がる」など、交流の場が広がる施設です。
- 2 一体感のある「複合施設」**  
（仮称）南部コラボセンターは、生活、学習、交流の場を提供する施設です。生活、学習、交流の場を提供する施設です。
- 3 頼りになる「専門施設」**  
（仮称）南部コラボセンターは、地域の若者から、高齢者の皆様にまで、地域の魅力を発信し、交流の場を提供する施設です。
- 4 まちに溶け込んだ、まちの魅力を発信する「名所施設」**  
（仮称）南部コラボセンターは、地域の若者から、高齢者の皆様にまで、地域の魅力を発信し、交流の場を提供する施設です。
- 5 災害時の拠点となる「防災施設」**  
（仮称）南部コラボセンターは、地域の若者から、高齢者の皆様にまで、地域の魅力を発信し、交流の場を提供する施設です。

## はじめに

豊中市の南部地域は、歴史のあるまちであり、とりわけ和歌山県から、和歌山県を中心に発展し、人口も急増しました。駅前には数多くの商業施設が立ち並び、まちの中心地として発展してきました。また、自給自足のまちや大規模な大学が立ち並ぶなど、文化や教育の面で、様々な魅力を発信しています。



（仮称）南部コラボセンター基本構想（概要版）  
子どもに夢を！ 地域に輝きを！  
南部地域がまとまる、つながる、元気になる。

（仮称）南部コラボセンター基本構想  
平成26年（2014年）3月 豊中市

## （仮称）南部コラボセンターについて

（仮称）南部コラボセンターは、義務教育学校・（仮称）北校との一体的整備を進めており、隣接する施設となります。地域を担う子どもたちを育む施設となるよう、（仮称）北校と密接に連携することはもちろん、南部地域に散在する老朽化した公共施設を複合化し、市民サービスの拠点となるように取り組んでいます。

## 設計に向けたワークショップを開催しました【平成30年（2018年）7月28日～10月20日（全4回）】



どのような施設づくりをすれば、「利用しやすく、居心地がよく、わくわくするような場所」となるのか、市民の皆さんで意見交換を行うワークショップを開催しました。全4回のワークショップでは、「コラボセンターを地域住民と子どもを繋ぐ心地よい場所にしたい」「学校とコラボセンターの連携を充実させてほしい」などのたくさんのアイデアや想いが集まり、少しずつ形ができていきつつあります。

（仮称）南部コラボセンターは、誰もが気軽に立ち寄れる、まちに溶け込んだ、まちの魅力を発信する楽しい施設をめざしています。完成は少し先ですが、楽しみにしててください。

市民協働部 南部地域連携センター長  
荒木 孝信



しょうないREKが  
とよなかなんぶ  
豊中市南部で活動を  
始めて13年。これは  
当時生まれた赤ちゃん  
が中学生になる年と同じ。地域に新しい力が育っていることを実感しています。まちやひとが希望にあふれ、健やかに笑顔で暮らすことができるように、私たちがいろいろな視点からREKが持つ資源やノウハウを最大限に発揮して、これからの未来づくりのお手伝いを続けていきたいと思っています。

# 「庄内地域の魅力ある学校づくり」

教育委員会では現在、庄内地域の子どもたちが、思考力・判断力・表現力等からの時代の生きる力を身につけるよう、自信をもって自分の人生を切り拓けるよう、庄内地域を「全国モデルとなる教育先進地」とすることをめざし、先進的な教育の導入や独自の取り組みの検討を進めています。具体的には、「庄内地域における魅力ある学校づくり」として、現在の6小学校と3中学校を再編し、義務教育9年間について系統的で一貫性のある教育を行う小中一貫校（義務教育学校）2校を新設する計画で、（仮称）南部コラボセンターと緊密な連携を図ることとしています。

義務教育学校では、柔軟な学年段階の区切りや独自教科の設定など、さまざまな工夫が可能になります。子どもたちが、将来の目標や夢を持ち、がんばっていただけるよう、保護者や地域の皆さんのご理解をいただきながら、「魅力ある学校づくり」の実現にむけて一歩一歩取り組んでいきたいと考えています。



豊中市教育長  
岩元 義継

## きゅーあんどえー Q & A

3小学校（庄内・野田・島田）と2中学校（第六・第十）を再編し、平成34年度（2022年度）に庄内小学校と第六中学校の敷地に開校予定の義務教育学校・（仮称）北校。開校にあたって気になるアレコレを突撃取材で聞きました。

- Q 子どもたちの通学の安全をどのように確保するのでしょうか？**  
**A** 通学の安全確保はとても重要です。現在の小学校の通学路はこれまでの取り組みにより安全対策を講じているため、できる限り活用し、新たに通学路となる道について、関係部局や関係機関等と連携し、ハード・ソフト両面から安全対策に取り組みます。
- Q 運動会や学習の成果を発表する会などの大きな学校行事は、どのようにして行うのでしょうか？**  
**A** 学校行事の時期や実施方法については、現在検討中です。庄内地域の小中学校の教職員等が集まり、学校行事を含めて、学校運営や生活指導、学習指導などをテーマに、充実した学校生活をめざして意見交換しています。参考に、他市の義務教育学校では、学年ごとや全学年一斉など、さまざまな形で実施されています。
- Q 校歌はどのようにして決めるのですか？**  
**A** 校歌の決定方法については、専門家に依頼することも含めて、現在検討しているところです。みなさまに愛され、長く歌い継いでいただける校歌にしたいと考えています。
- Q 制服・標準服はどのようなものになるのでしょうか？**  
**A** 制服・標準服については、義務教育学校・（仮称）北校の開校準備委員会において意見交換していただいたところです。また、保護者や教職員を対象に行ったアンケートの結果を参考に考えていく予定です。
- Q 校舎の外観はどのような外観になるのでしょうか？**  
**A** 昨年7月から10月にかけて、義務教育学校・（仮称）北校と（仮称）南部コラボセンターの設計についてワークショップを行い、市民や教職員のみなさんから、施設の外観を含めてさまざまなご意見をいただきました。地域のシンボルとして、2つの施設が一体感のある外観となることを目標に設計を進めています。
- Q 地域諸団体の活動は、今後どのようになっていくのでしょうか？**  
**A** 校区単位で活動している地域団体について、現在、各担当から校区再編後の活動の意向を確認させていただいています。今後は、各団体の意向を踏まえ、活動に係る支援などに取り組みます。
- Q 新校舎が完成するまでの移行期間はどのようにするのか、簡単に説明していただけますか？**  
**A** （仮称）北校の建設工事は、平成32年度（2020年度）・33年度（2021年度）に行われる予定です。そのため、平成32年度（2020年度）に庄内小学校は野田小学校の敷地に移設、第六中学校と第十中学校は統合し、新たな中学校となります。なお、島田小学校は、（仮称）北校開校まで現在のまま運営します。